



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月12日

上場会社名 株式会社フォーバルテレコム

上場取引所 東

コード番号 9445 URL <https://www.forvaltel.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷井 剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 山本 忠幸

TEL 03-3233-1301

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

2019年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	10,334	20.5	515	54.9	486	57.0	332	26.8
2019年3月期第2四半期	8,573	13.3	332	26.9	310	14.2	262	43.2

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 332百万円 (26.5%) 2019年3月期第2四半期 263百万円 (43.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	19.91	
2019年3月期第2四半期	15.70	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	13,046	2,990	22.8
2019年3月期	12,501	2,824	22.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 2,978百万円 2019年3月期 2,813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		7.00		10.00	17.00
2020年3月期		7.00			
2020年3月期(予想)				10.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	7.9	900	1.3	840	5.0	590	0.0	35.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	16,693,200 株	2019年3月期	16,693,200 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	5 株	2019年3月期	5 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	16,693,195 株	2019年3月期2Q	16,693,199 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用情勢・所得環境の改善などが見られるなど回復基調で推移したものの、2019年10月の消費税率引上げや米中貿易摩擦の影響等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが中核的な事業領域とする情報通信分野では、移動系超高速ブロードバンド接続サービスの契約数が急拡大し、ビジネスにおける効果的な活用や急増したデータ量への対応・セキュリティ対策が課題となっております。

このような環境の下で、当社グループは、法人向けVoIPサービス、法人向けFMC (Fixed Mobile Convergence) サービス、個人向けインターネットサービス等「IP&Mobileソリューション」と位置付ける利便性の高いサービスの拡販を中心に、中小法人及びコンシューマ向けの各種サービスを提供しております。

具体的には、当社及び当社連結子会社である(株)FISソリューションズにおいては、光回線サービス「iSmartひかり」、法人を対象とした光ファイバー対応IP電話「スマートひかり」・「AmaVo」及びスマートフォンを利用したFMCサービス「ツーウェイスマート」並びに個人を対象としたISPサービス「iSmart接続-Fひかり」を中心に、インターネットサービス、情報通信機器販売等を提供しております。

当社連結子会社である(株)トライ・エックス及びタクトシステム(株)においては、当社サービスの利用顧客からのニーズが強い「ドキュメント・ソリューション」を提供しており、上流工程から最終工程まで一貫したサービスの提供が可能となっております。

また、当社及び当社連結子会社である(株)保険ステーションにおいては、当社サービスの利用している顧客へ「コンサルティング」を提供しております。

これらにより、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が103億34百万円（前年同四半期比20.5%増）、営業利益が5億15百万円（前年同四半期比54.9%増）、経常利益が4億86百万円（前年同四半期比57.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が3億32百万円（前年同四半期比26.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

《IP & Mobileソリューション事業》

「IP & Mobileソリューション事業」におきましては、VoIPサービス、モバイルサービス等の情報通信サービス全般を提供しております。光コラボレーションモデルやモバイルルーターの再卸における契約獲得が順調に伸びたこと等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は82億16百万円（前年同四半期比28.7%増）、セグメント利益は3億69百万円（前年同四半期比168.1%増）となりました。

《ドキュメント・ソリューション事業》

「ドキュメント・ソリューション事業」は、普通印刷、印刷物のプランニング・デザイン等を行っております。厳しい競争環境に加え、人件費・減価償却費をはじめとするコストの増加等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は7億88百万円（前年同四半期比3.7%減）、セグメント利益は22百万円（前年同四半期比52.1%減）となりました。

《コンサルティング事業》

「コンサルティング事業」は、経営支援コンサルティング、保険サービス及びセキュリティサービス等を行っております。大口の保険契約の獲得が厳しく、当第2四半期連結累計期間の売上高は13億29百万円（前年同四半期比3.0%減）、人件費・減価償却費をはじめとするコストの増加等により、セグメント利益は1億23百万円（前年同四半期比16.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は130億46百万円となり、前連結会計年度末比5億45百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金の減少（5億98百万円）、受取手形及び売掛金の増加（2億62百万円）、前払費用の増加（3億48百万円）及び長期前払費用の増加（4億35百万円）によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は100億56百万円となり、前連結会計年度末比3億79百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加（93百万円）、短期借入金の増加（3億72百万円）及び長期借入金の減少（30百万円）によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における非支配株主持分の残高は11百万円となりました。また、純資産の残高は29億90百万円となり、前連結会計年度末比1億65百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5億98百万円減少し、8億86百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果使用した資金は、6億66百万円（前年同四半期は12億41百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益4億85百万円、売上債権の増加額2億90百万円、代理店へインセンティブの支払に関する前払費用の増加額6億12百万円及び長期前払費用の増加額4億35百万円等によるものです。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果使用した資金は、1億7百万円（前年同四半期は4億30百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出31百万円及び無形固定資産の取得による支出65百万円等によるものです。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果獲得した資金は、1億75百万円（前年同四半期は20億36百万円の獲得）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額3億72百万円及び配当金の支払額1億66百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、期初に想定した範囲内で順調に推移しており、2019年5月15日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,484,948	886,241
受取手形及び売掛金	2,912,407	3,174,420
商品及び製品	72,598	75,484
仕掛品	17,169	54,582
原材料及び貯蔵品	284,286	225,979
未収入金	1,913,838	2,028,680
前払費用	1,829,045	2,177,660
その他	103,878	98,657
貸倒引当金	△130,786	△134,368
流動資産合計	8,487,385	8,587,337
固定資産		
有形固定資産	94,498	115,594
無形固定資産		
のれん	505,945	475,522
その他	386,986	389,356
無形固定資産合計	892,931	864,878
投資その他の資産		
長期前払費用	2,448,066	2,883,671
その他	823,618	865,901
貸倒引当金	△244,800	△270,608
投資その他の資産合計	3,026,883	3,478,964
固定資産合計	4,014,313	4,459,437
資産合計	12,501,699	13,046,775
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,159,674	2,252,972
短期借入金	3,962,000	4,334,000
未払金	2,396,645	2,394,924
未払法人税等	193,553	179,524
賞与引当金	134,683	139,849
役員賞与引当金	50,500	36,100
その他	405,597	374,363
流動負債合計	9,302,654	9,711,735
固定負債		
長期借入金	150,000	120,000
退職給付に係る負債	224,260	221,835
その他	—	2,700
固定負債合計	374,260	344,535
負債合計	9,676,914	10,056,270

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	542,354	542,354
資本剰余金	42,353	42,353
利益剰余金	2,228,768	2,394,201
自己株式	△1	△1
株主資本合計	2,813,474	2,978,907
非支配株主持分	11,310	11,597
純資産合計	2,824,785	2,990,504
負債純資産合計	12,501,699	13,046,775

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	8,573,854	10,334,291
売上原価	5,913,401	7,022,217
売上総利益	2,660,452	3,312,074
販売費及び一般管理費	2,327,605	2,796,362
営業利益	332,847	515,711
営業外収益		
受取利息	22	501
違約金収入	14,046	5,826
その他	4,221	1,243
営業外収益合計	18,290	7,571
営業外費用		
支払利息	9,279	15,077
持分法による投資損失	5,718	—
貸倒引当金繰入額	25,636	21,246
その他	278	1
営業外費用合計	40,912	36,324
経常利益	310,225	486,958
特別利益		
固定資産売却益	17	27
特別利益合計	17	27
特別損失		
投資有価証券評価損	—	1,134
固定資産除却損	1,864	625
特別損失合計	1,864	1,759
税金等調整前四半期純利益	308,377	485,227
法人税、住民税及び事業税	65,012	168,797
法人税等調整額	△19,650	△16,221
法人税等合計	45,361	152,575
四半期純利益	263,015	332,651
非支配株主に帰属する四半期純利益	980	286
親会社株主に帰属する四半期純利益	262,035	332,365

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	263,015	332,651
四半期包括利益	263,015	332,651
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	262,035	332,365
非支配株主に係る四半期包括利益	980	286

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	308,377	485,227
減価償却費	64,742	82,105
のれん償却額	23,084	30,423
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9,784	29,389
賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,490	5,166
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,308	△14,400
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	68,826	275
受取利息及び受取配当金	△38	△516
支払利息	9,279	15,077
違約金収入	△14,046	△5,826
持分法による投資損益(△は益)	5,718	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△17	△27
固定資産除却損	1,864	625
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,134
売上債権の増減額(△は増加)	△201,638	△290,290
たな卸資産の増減額(△は増加)	△94,243	18,007
未収入金の増減額(△は増加)	△1,312,734	△119,157
前払費用の増減額(△は増加)	△385,632	△612,486
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△8,417	15,849
長期前払費用の増減額(△は増加)	△886,266	△435,605
仕入債務の増減額(△は減少)	446,022	89,764
未払金の増減額(△は減少)	682,608	△6,307
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△36,224	△30,365
その他	12,594	△682
小計	△1,356,725	△742,621
利息及び配当金の受取額	38	516
利息の支払額	△8,843	△15,821
法人税等の支払額	△72,776	△182,825
違約金の受取額	196,705	274,012
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,241,601	△666,739

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△27,585	△31,730
有形固定資産の売却による収入	17	27
無形固定資産の取得による支出	△134,663	△65,419
事業譲受による支出	△265,000	—
投資有価証券の取得による支出	△1,700	—
貸付けによる支出	△1,800	△10,817
貸付金の回収による収入	3,881	899
敷金の差入による支出	△4,281	△310
敷金の回収による収入	808	154
投資活動によるキャッシュ・フロー	△430,323	△107,194
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,280,000	372,000
長期借入金の返済による支出	△110,000	△30,000
配当金の支払額	△133,610	△166,774
リース債務の返済による支出	△63	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,036,325	175,225
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	364,400	△598,707
現金及び現金同等物の期首残高	951,045	1,484,948
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	27,951	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,343,397	886,241

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IP & Mobile ソリューション 事業	ドキュメント・ソリュー ション事業	コンサルティング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	6,383,842	819,348	1,370,662	8,573,854
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,485	38,370	2,562	52,418
計	6,395,328	857,719	1,373,225	8,626,272
セグメント利益	137,922	46,534	147,966	332,423

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	332,423
セグメント間取引消去	423
四半期連結損益計算書の営業利益	332,847

3. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「コンサルティング事業」セグメントにおいて、当社連結子会社の株式会社保険ステーションは、株式会社Eternal Best Partnerからの事業譲受により、のれんが198,159千円増加しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IP & Mobile ソリューション 事業	ドキュメント・ソリュー ション事業	コンサルティング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	8,216,113	788,624	1,329,553	10,334,291
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,638	23,469	2,467	38,575
計	8,228,752	812,093	1,332,021	10,372,867
セグメント利益	369,766	22,291	123,326	515,384

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	515,384
セグメント間取引消去	326
四半期連結損益計算書の営業利益	515,711